

瞬快Ver.10系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.10a	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	McAfee VirusScan Enterprise 8.8に対応しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアントインストーラ	機能改善	クライアントを新規インストールする時に自動でクイックアップ デートエージェントをインストールするようにしました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	瞬間復元ドライバ	瞬間復元機能が使用する一時フォルダ内のファイル削除に失敗し、瞬快のタスクトレイのアイコンが赤色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアントインストーラ	瞬快クライアントを復元タイプが「ファイル・フォルダ単位」でサイレントインストールした場合、インストール後に修復対象・対象外領域を示すツリー表示が正しく反映されていない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	SROクライアントインストーラ	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした直後にディスクイメージ取得を行った場合、そのディスクイメージを配信すると、配信先のPC上で「0091 指定されたファイルが存在しません」というメッセージが表示され、Windows環境設定の処理ができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした後、「Deployment Agent」サービスを再起動してください。 その後、ディスクイメージの取得を実施してください。	-
	インストーラ共通	「Windows ファイアウォール」サービスが停止している場合、瞬快のインストールに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	瞬快をインストールする際、「Windows ファイアウォール」サービスを開始した状態で行ってください。	-
	クライアント	瞬快クライアントサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	サーバ	瞬快サーバサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	瞬快コンソールに登録されたクライアントPCが削除できない。 瞬快コンソールで削除したいクライアントPCを選択し削除を実施しても、「最新の情報に更新」を実施すると元に戻ってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 並	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「Windows環境の設定」サービスを実行した時に以下の情報が設定されない。 ・固定IPアドレス ・優先DNSおよび代替DNS	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	弊社HPのトピックスで掲載しております「システムリカバリ機能の後処理が正しく動作しない」の「対応方法」を実施してください。	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「ディスクイメージ配信(端末設置後の後処理用)」サービスが64bitOS上で正しく動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能のコンソールとサーバが別のPCにセットアップされている環境下において、以下のサービス作成に失敗する。 ・「ユーザ指定処理(ファイル転送あり)」を含むサービス ・「瞬快サイレントインストール」を含むサービス ・「ハードディスクデータの消去」サービス	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
スケジューラ	別セグメントに存在するクライアントPCに対して、以下の電源オンを伴うスケジュールを実行しても電源オンに失敗する。 ・電源オン ・WindowsUpdate連携	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-	
Ver.10b	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター Corp 10.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos antivirus 9.7 に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	瞬間復元ドライバ	機能追加	瞬間復元機能なしインストールに対応しました。 瞬間復元を利用しない場合は、瞬間復元機能無しインストールを行うことで、ディスク暗号化ソフトとの共存が可能となります。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	システムリカバリ	機能追加	2011年度上期ESPRIMO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 上、特上	-	対応機種の詳細は、瞬快のホームページを参照ください。
	システムリカバリ	機能追加	Office 2010 アクティベーションに対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 上、特上	-	-
	省電力機能	機能追加	富士通製ノートパソコンのピークシフト機能に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	ピークシフト機能が動作する機器については、瞬快のホームページを参照ください。
	運用支援	機能追加	複数サーバの分散化機能の負荷分散型に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	機能改善	有線LANと無線LANの両方を搭載したクライアントPCの、管理コンソールでの管理方法を改善しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	SSDを搭載したWindows7のPCにて、ファイルフォルダ単位の更新モードおよび、パーティション単位の修復モードと更新モードで運用を行うと、ファイルが壊れる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	Windows7以外では発生しません。SSDがTrim機能に非対応の場合は発生しません。	
	瞬間復元ドライバ	Adobe Flash Catalystがファイルフォルダ単位の修復モード中に起動できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	OS起動時に、UICollector.exeが動作を停止する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	
Ver.10b+	システムリカバリ	機能追加	Windows PE を使用した LIFEBOOK A561/C へのディスクイメージ取得および配信に対応しました。	【レベル】 Ver.10b以前 【グレード】 上、特上	NICベンダーのサイトから当該機種に対応したLANDドライバを個別追加する。	
	システムリカバリ	ESPRIMO D581/C および LIFEBOOK A561/C に対して、DR-DOSを使用したディスクイメージ取得および配信を行うと通信エラーが発生する。	LANDドライバを更新しました。	【レベル】 Ver.10b以前 【グレード】 上、特上	NICベンダーのサイトから当該機種に対応したLANDドライバを個別追加する。	
Ver.10e	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1に対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	エフセキュア クライアントセキュリティ 9.20 に対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	機能追加	クライアントの簡単設定機能で、次の製品のユーザー辞書を修復対象外に設定できるように対応しました。 ・Microsoft Office IME 2007 ・Microsoft Office IME 2010 ・ATOK 2011	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	機能追加	単一PC操作でマルチディスプレイに対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	機能追加	ファイル回収機能で、ログインIDでサブフォルダ分けすることができるようになりました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	機能追加	2011年度下期ESPRIMO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 上、特上	-	
	アップデートキャッチャー	機能追加	最新レベルの製品のインストーラーをダウンロードできるアップデートキャッチャーを搭載しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クイックアップデート	機能改善	更新モードのPCにクイックアップデート適用ができるようになりました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、次のブルースクリーンが発生する場合がある。 0x0000000a	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、次のブルースクリーンが発生する場合がある。 0x00000050	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection 11.0でスキャンを行うとディスクの使用量が増大する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、次の条件の場合、OSがフリーズする場合がある。 ・Sophos Anti-Virusがインストールされている ・Sophos Anti-Virusのオンアクセス検索の検索タイミングの設定が「書き込んだとき」あるいは「ファイル名を変更したとき」のチェックが有効になっている。(デフォルトは無効になっている)	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	Sophos Anti-Virusの検索タイミングの設定で「書き込んだとき」および「ファイル名を変更したとき」のチェックを外してください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、瞬間復元ドライバとWindows Searchのインデックス作成が競合し、OSがフリーズする場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	WindowsSearchサービスのスタートアップの種類を「無効」に設定してください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、「ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーメッセージが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、フォルダの変名操作や移動操作により、ファイルが消える場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、フォルダ階層を修復対象->修復対象外->修復対象に設定すると、最下層の修復されるべきファイルが修復されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、フォルダをShift+Deleteキーで直接削除(ごみ箱を使用しない)すると、「予期しないエラーのため、フォルダを削除できません」のメッセージが表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	ごみ箱に入れてから、ごみ箱を空にするとエラーは出ません。	削除できないメッセージが表示されても、フォルダは削除されています。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、修復対象フォルダにストリーム情報付き(例:ファイルのプロパティにブロックの解除ボタンがある)ファイルのコピーすると、0バイトのファイルとしてコピーされてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、ショートファイル名(8.3形式)でファイルを扱うプログラムを実行したときに、正常に動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Sophos antivirus 9.7のオンアクセス検索設定が「ファイル名を変更したとき」の場合、アップデートが動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	Sophos Anti-Virusの検索タイミングの設定で「ファイル名を変更したとき」のチェックを外してください。	
	サーバ	スケジューラから多台数のPCに対して電源オフ、WindowsUpdate連携等を実施した場合、成否結果が正しく表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	スケジュール実行する際の同時実行台数を少なくしてください。	
	クライアント	瞬快のタスクトレイアイコンが準備中から進まない、表示までに時間がかかる、表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	瞬快のタスクトレイアイコンで「BzTray は動作を停止しました」というメッセージが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	マルチブート環境でクライアントの環境設定画面で、マルチブートの順番を変更してもクライアント起動時のOS選択画面の並びに反映されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	マルチブート環境にて、サブOSに対する状態通知または、命令実行に失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアントインストーラ	クライアントPCに空き容量の少ない外付けHDDを接続していると、インストールに失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	外付けHDDを外してからインストールを行ってください。	
	WindowsUpdate	マルチブート構成において、スケジューラからサブOS(デフォルトブート)に対するWindowsUpdate連携指示ができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	リモートコントロール複数PC操作 グループ再選択で、レイアウトの異なるクライアントを選択した際に、画像が重なる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	vPro	vProを使用した電源オンを多台数のクライアントに同時実行すると、異常終了する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	マルチブート構成において、サブOSに対するSysprep実行が失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 上、特上	-	
Ver.10f	システムリカバリ	機能追加	システムリカバリ機能に、USBリカバリ機能を搭載しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 特上	-	
	システムリカバリ	機能追加	2012年度上期ESPRIMO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディションの以下のバージョンに対応しました。 ・10.6 ・10.5 Patch 3 ・10.5 Patch2.2 ・10.0 SP1 Patch4.1	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	エフセキュア クライアントセキュリティ 9.31 に対応しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos Endpoint Security and Data Protection 10.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	WindowsXPの場合はサポート外です。
	システムリカバリクライアントインストーラ	機能改善	システムリカバリクライアント機能をインストールする際に、ボリュームシャドウコピーを削除する機能を追加しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードの場合に、シンボリックリンクが正しく動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用中に、Adobe Photoshop Elements を使用するとWindowsがフリーズしてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	以下のような事象が発生する場合があります。 ・修復モードにするとWindowsが起動しなくなる ・修復ポイントの設定処理が途中で停止する	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードで運用した場合に、次のSTOPエラーが発生する場合があります。 0x0000008e 0x0000003b	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	Windows Searchサービスを無効に設定してください。	
	瞬間復元ドライバ	PC起動時のOS切り替え画面において、非表示設定(###付き)にしているOSが表示されてしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードかつメモリキャッシュ機能が有効な状態において、ストリーム情報付きのファイルと同じドライブ内の修復対象外フォルダへ移動するとファイルが消える場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	ストリーム情報付きのファイルと同じドライブ内の修復対象外フォルダに移動したい場合は、移動先に一旦ファイルをコピーした後、移動元のファイルを削除してください。	
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードかつメモリキャッシュ機能を有効にした場合、フォルダダイレクト機能が正常動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	フォルダダイレクト機能を使用する場合は、メモリキャッシュ機能を無効に設定してください。	
	クライアント	Syunkai Clientサービスが、起動しない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	タスクトレイに表示される瞬快アイコンが表示されない、または準備中から切り替わらない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	一度ログオフし、再度ログインしなおしてください。	
	クライアント	Syunkai Clientサービスが、予期せぬエラーで終了する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	Windowsにログオンした時に「UiCollectorが停止しました」と表示される場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	空き容量の少ない外付けHDDを瞬快クライアントのインストールされたPCに接続した場合、空き容量不足のアラートが記録される。	外付けHDDは空き容量チェックをしないように修正しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	PCがスリープ状態から復帰した場合に、アプリケーションエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	スケジューラ	スケジューラからの WindowsUpdate連携処理において、クライアントPCが応答しなくなるような異常が発生した場合、キャンセル指示を出しても指示が受け付けられるまでに長時間待たされる。	WindowsUpdate連携の強制キャンセル機能を追加しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	スケジューラ	登録したスケジュールが指定時刻に実行されない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	スケジューラ	一般権限ユーザでWindowsにてログオンし、瞬快コンソールにて、すでに登録されているスケジュールを編集しようとする、瞬快コンソールが異常終了する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	スケジュールの編集を実施する場合は、管理者権限のユーザを使用してください。	
	スケジューラ	スケジューラ機能の電源オンの処理において、クライアントPCの電源が入らない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	WindowsUpdate連携	BzWuRunAgent.exe を使った WindowsUpdate連携のスタンドアロン実行を行った場合、アプリケーションエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携処理中に、更新プログラムを適用中の状態から処理が進まなくなる場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	利用情報収集機能	利用情報収集機能において、一部のソフトウェアがインストールソフトの一覧に出てこない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	利用情報収集機能	システムリカバリ機能を実行したクライアントにおいて、利用情報収集機能でのイベント情報収集が実行されなくなる場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	サーバ	瞬快サーバサービス(Syunkai Manage Server)が、起動しない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	サーバ	Ver.10eの瞬快サーバに、Ver.10b以前の瞬快クライアントが多数接続されると、瞬快サーバサービス(Syunkai Manage Server)が停止してしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	サーバ	アラート通知機能において、「メール通知をしない」を設定できない。	ポリシーにてメール通知を切り替えることができるように改善しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	クライアントインストーラ	瞬快クライアントをインストールすると、コントロールパネルの電源オプションに関するいくつかの設定項目が変更されてしまう。	瞬快クライアントの動作に影響しない次の項目については、インストール時に設定を変更しないようにしました。 ・スタートメニューの電源ボタンの動作 ・PC本体の電源ボタンの動作 ・PC本体のスリープボタンの動作 ・LIDスイッチの動作 ・バッテリー切れの通知動作 ・バッテリー低下の通知動作	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	修復無効モードに一旦変更し、電源オプションの設定を変更後、再度、修復モードに変更してください。	
	クライアントインストーラ	仮想ドライブが存在するPCに瞬快クライアントをインストールすることができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	サーバインストーラ	瞬快サーバのインストール時に運用データを格納するフォルダを標準値以外のフォルダへ変更した場合、メール通知機能が動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	瞬快サーバのインストール時に、運用データの格納フォルダを変更せず、初期値の状態のままインストールしてください。	
	クイックアップデートサーバインストーラ	インストール時と異なるユーザでログオンした状態では、クイックアップデートサーバのレベルアップ操作やアンインストール操作を行うことができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	クイックアップデートサーバのインストールを行ったユーザにて操作してください。	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能にて遠隔操作を開始した場合、一斉操作のモードで開始されず、個別遠隔操作のモードで開始されてしまう。	一斉操作で開始するように修正しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	「遠隔操作」ボタンを再度押し、遠隔操作モードに切り替えてください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信の後処理またはWindows環境の設定処理において、「キーボードの設定を行っています」というメッセージが表示された後、動作が止まる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信の後処理またはWindows環境の設定処理において、WindowsおよびOfficeのMAK認証を実行時、正しく認証が行われない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	クライアントPCのリモート登録機能において、登録先のグループを選択してリモート登録を実行しても、そのグループにクライアントPCが登録されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバのディスクイメージを格納するドライブに1TB以上の空き領域が存在する場合、システムリカバリコンソールがアプリケーションエラーとなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	システムリカバリ機能のディスクイメージ配信にて、以下の機種にDR-DOSでマルチキャスト配信すると、配信中にエラーが発生する場合がある。 B531/D、D581/D、D551/D、D551/DX、K552/D、K532/D、S761/D、A561/D、A531/D	システムリカバリ時に利用する RealTek社のネットワークドライバを変更しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	WindowsPEをご使用ください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信の後処理またはWindows環境の設定処理において、Windows XPにインストールされたOffice 2010のMAKアクティベーションに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	次のサービスプログラムを開始してください。 Office software protection platform	
	資源配信	フォルダ名とファイル名が同一の資源を登録し資源配信をすると、クライアントPC側の資源受信処理においてエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 特上	-	
	資源配信	100台規模の台数の瞬快クライアントに対して資源配信指示を実行すると、一部のクライアント(4~5台)で資源受信が開始されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 特上	資源受信が開始されなかったクライアントに対しては、再度、資源配信指示を実行してください。	
	クイックアップデート	クイックアップデートによるアップデート処理にて、システムリカバリクライアントのアップデートに失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
Ver.10g	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディション 10.6 SP1に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	Symantec Endpoint Protection 12.1RU2に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	ESET Smart Security V5.0に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	エフセキュア クライアントセキュリティ 9.32に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Windowsのイベントログを開くと、日付順にソートされずに表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、ディスクにエラーが無いにもかかわらず、ディスクエラーがあると、誤ったメッセージを表示してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e Ver.10f 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、修復モード時に作成したジャンクションが正しく動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection 12.1のLiveUpdateを実行すると、0x7eのSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f 【グレード】 共通	メモリキャッシュ機能を利用せずに、プリロード機能に切り替えてください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、フォルダダイレクトの設定がされているデスクトップやマイドキュメントなどで次の操作ができない。 ・フォルダのリネーム ・フォルダの削除(ごみ箱移動) ・フォルダの移動	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e Ver.10f 【グレード】 共通	メモリキャッシュ機能を利用せずに、プリロード機能に切り替えてください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、作成したフォルダを、ごみ箱へ移動させると、エクスプローラーがアプリケーションエラーになる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	メモリキャッシュ機能を利用せずに、プリロード機能に切り替えてください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、多量(数千から1万程度)のファイルをオープンすると0x1AのSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e Ver.10f 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	全角英小文字を含むファイルやフォルダを、修復対象または対象外に指定しても、指定通りに動作せず、全角英大文字の修復対象、対象外として動作してしまう。 【例】 C:\k o m o j i ¥ を修復対象外と設定した場合でも、 C:\K O M O J I ¥ が修復対象外として動作してしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	なし	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の処理中に、OSが再起動を繰り返すもしくは、連携処理が進まなくなり、タイムアウトしてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	画面転送終了時にクライアントPCのビューアプログラムが異常終了する場合がある。(アクセス違反を起し、異常終了のダイアログが表示される)	異常終了とならないようにプログラムを修正しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	クライアント側で異常終了のダイアログを閉じてから、コンソール側から再度画面転送を行ってください。	
	リモート画面操作機能	複数PC操作を起動後、クライアントPCの電源を入れたり、再起動をして、そのまま経過させると自動的にモニタリング開始できない場合がある。	自動接続できるようにプログラムを修正しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	複数PC操作を一旦終了させてから、再度起動してください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信後のWindows環境の設定でネットワーク設定に失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 上、特上	Deployment Agent サービスを遅延開始に設定してください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信後のWindows環境の設定でデフォルトゲートウェイの設定に失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	USBリカバリ機能にてディスクイメージのバックアップまたはリストアを実施すると、アプリケーションエラーとなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f 【グレード】 特上	なし	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信関連のサービスにおいて、Windows環境を変更するタイミングにて処理が停止しタイムアウトになる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信サービスにて、64bit版Windows7のクライアントにインストールされている32ビット版Office2010のKMS認証を指示しても認証処理が動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 上、特上	サービス作成Wizardにて「Office2010のアクティベーションを実行する」のチェックをせず、「ユーザ指定処理を実行する」の処理でアクティベーション用のコマンドを実行するよう設定してください。	
Ver.10i	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディション 10.6 SP2 に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディション 10.5 Patch 5 に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU2 MP1 に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	エフセキュア クライアントセキュリティ 10.00 に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos Endpoint Security and Control 10.2 に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	システムリカバリ	機能追加	2013年度上期 ESPRIMO、LIFEBOOK の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	機能追加	Microsoft Office 2013 のアクティベーションに対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	機能追加	USBリカバリ機能の「Windows環境の設定(USBリカバリ用)」にて無線LANネットワークの設定に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 特上	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ	機能変更	Windows PE の同梱を停止しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 上、特上	-	システムリカバリ機能に Windows PE を利用する場合は、Windows ADK もしくは Windows AIK を入手していただく必要があります。
	共通機能	機能追加	UEFIブートする Windows 7 への瞬快クライアントのインストールを可能としました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	-	UEFIブート環境へのインストールをサポートしている機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	管理機能	機能追加	機器情報のインポート、エクスポートにて、システムリカバリの関連情報も一緒に処理できるようにしました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 上、特上	-	
	クライアント	機能追加	ログオン時に Ctrl+Alt+Del のキー発行を必要とするクライアントに対しても、特別な操作をすることなくリモートログオンできるようにしました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	-	
	vPro	機能追加	AMT 9.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	DHCP設定と認識されているクライアントに対し、システムリカバリコンソールにて「IPアドレスの自動設定」を実施するとエラーとなり処理されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 上、特上	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Googleドライブへのファイルの移動や、Googleドライブ内でファイルのリネームができない。	プログラムを改修しました。 ただし、Googleドライブとの同期処理が遅いという問題が残っています。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	なし	Googleドライブとの同期処理が遅い現象が発生した場合は、一度 Windowsからログオフし、再度ログオンすることで現象が改善する場合があります。
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがインストールされたPCで、瞬快の設定情報の取得に失敗し、設定内容が変更されてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、ネットワークドライブの割り当てを行ったドライブに対してシンボリックリンクの作成を行いファイルの作成を行うと、0x24 や 0x50 のSTOPエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	なし	
	共通機能	製品グレード(特上、上、並)が異なるクライアントの管理・操作ができない。	プログラムを改修しました。 製品グレードの異なるクライアントであっても管理・操作が可能となります。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバ	大規模のクライアント環境で大量の接続要求が集中した場合、サーバ負荷が高まり、サーバサービスが異常終了する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	サーバサービスを再起動してください。	
	クライアント	瞬快クライアントのレベルアップ処理において、Windowsが再起動した後に、タスクトレイの瞬快アイコンが黄色のままになり、レベルアップ処理が進まなくなってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	現象が発生した場合は、瞬快製品DVDのTOOLフォルダ内にある PexClear.exe コマンドを使用して状態のクリアを行った後、動作モードの変更を行ってください。	
	クライアント	クライアントからサーバへの定期報告が失敗し、機器一覧上でクライアント状態が正しく表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	なし	
	スケジューラ	スケジュール完了時のメール送信に失敗するとスケジュールが完了状態とならない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	なし	
	スケジューラ	スケジューラによるログオンにおいて、パスワード無しアカウントによるログオンができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	Windows XP かつ マルチディスプレイ環境の場合、モニタリングできなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以降 Ver.10g以前 【グレード】 共通	ディスプレイアダプタのハードウェアアクセラレータ設定を無効にしてください。	
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「ディスクイメージ配信」、「ディスクイメージ配信(端末設置後の後処理用)」もしくは「Windows環境の設定」サービスを実行した時、サービスがタイムアウトになる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10g以前 【グレード】 上、特上	なし	
Ver.10m	システムリカバリ	機能追加	2013年度下期モデルの ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS に対応しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 上、特上	-	対応している機種名の詳細は、瞬快のホームページを参照ください。
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	トレンドマイクロ ウィルスバスター コーポレートエディション 10.6 SP3に対応しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU3 に対応しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	Symantec Endpoint Protection 12.1(SEP12.1)の仕様変更により、瞬快がSEP12.1がインストールされていることを認識できなくなり、ウイルス対策ソフト連携機能が動作しなくなる。 また、SEP12.1の起動が正常動作しなくなる。	SEP12.1の仕様変更に合わせて、瞬快の処理を見直しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	SEP12.1の改変対策機能を無効にしてから、瞬快クライアントを修復モードに切り替えてください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	クライアント	瞬快クライアントに異常が発生し、タスクトレイの瞬快アイコンが赤色になった場合、瞬快クライアントは瞬快コンソールからの指示を受け付けません。	瞬快アイコンが赤色でも、瞬快コンソールからの指示を受け付けるように改修しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	なし	瞬快クライアントで発生しているエラーの内容によっては、指示通りに動作しない場合があります。
	クライアント	UEFIブートのPCにて、瞬間復元機能に異常が発生した場合に、瞬快クライアントをアンインストールすると、OSが再起動を繰り返す状態になってしまう。	再起動を繰り返さないようにしました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	次のいずれかの操作で、修復無効モードへ切り替えを行い、瞬間復元機能の異常を解除してからアンインストールを行ってください。 ・瞬快製品DVDのTOOLフォルダ内の次のコマンドを実行する。 ChkMbr.exe /RESTORE ・OSのインストールDVDまたはシステム修復ディスクからPCを起動し次のコマンドを実行する。 bootrec.exe /fixmbr	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Googleドライブの同期が正しく行われない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、ファイルの移動や変名を行うと、エクスプローラ上からファイルが見えなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	複数PC操作において、「レイアウト表示」からグループの再選択を行い遠隔操作に切り替えると、全台への遠隔操作ができなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10i以前 【グレード】 共通	一度、「パネル型表示」または「L字型表示」に切り替えてからグループの再選択を行うことで回避できます。	
	リモート画面操作機能	瞬快クライアントにて、次のような事象が発生する場合がある。 ・ログオフ、シャットダウンができない／時間がかかる ・ログオンができない／時間がかかる ・PCのスリープ解除時に、PCが正しく動作しない ・アプリケーションが応答なしになる	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10i 【グレード】 共通	「Syunkai Background daemon」のサービスを停止させてください。	
Ver.10n	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU4 MP1a に対応しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	システムリカバリ	機能追加	2014年度上期モデルの ESPRIMO、LIFEBOOKに対応しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 上、特上	-	対応している機種名の詳細は、瞬快のホームページを参照ください。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection (以下SEP)と共存させた場合、SEPのエラーが表示されたり、イベントログにエラーが記録されたりする場合がある。これらの問題を回避するために、SEPの設定を変更する必要がある。	瞬間復元ドライバの復元方式を改良し、SEPの設定を変更すること無く、SEPが正常動作するようにしました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	瞬快のホームページに記載されている、SEPとの共存時に必要な設定を行ってください。	本レベルから、SEPIはインストール時の初期設定のままで共存可能となります。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントの動作モードの変更処理において、動作モード変更のためのOS再起動の処理に入った後でも、別の動作モードへの変更指示を受け付けることが可能となっており、これが実行された場合には瞬快の環境が壊れてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	瞬快コンソールからモード変更指示を行う場合などでは、先に実施されているモード変更処理が終了したことを確認してから実施してください。瞬快環境が壊れてしまった場合の対処方法については、瞬快のサポートセンターまでお問い合わせください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、稀にOSがフリーズ状態(マウスカーソルは動作するが、クリックしても反応しない)になってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	AMI BIOSの搭載されている一部の機種では、UEFIが有効である場合に瞬快クライアントを修復モードでインストールすると、OS起動時に「Init() failed」のメッセージが表示され、OSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	BISO互換モードでOSをインストールしてください。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCでは、Internet Explorer上でファイルのリンクをクリックして直接ファイルを開こうとすると、そのファイル名が2バイト系文字を含むロングファイル名である場合、ファイルが削除されている旨のメッセージが出て開けない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	添付ファイルをディスクに保存してから開くと、問題は発生しません。	
	瞬間復元ドライバ	HP社製の一部の機種種のプレインストール環境では、不正なレジストリ(終端文字が無い)を含む状態となっており、この環境に瞬快クライアント機能をインストールすると、OS起動時に0x7BのSTOPエラーが発生し、OSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	異常が発生してしまった場合の対処方法については、瞬快のサポートセンターまでお問い合わせください。	
	クライアント	ドメインに参加しているクライアントPCにてプライマリDNSサフィックスの設定を空にしていると、リモートログオンの処理に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	なし	
	共通機能	基本認証が必要なSMTPサーバに対して、瞬快のメール送信機能が対応していない。	ポリシーエディタで基本認証に必要な項目を指定できるように改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	瞬快コンソールがインストールされているPCをリモートデスクトップ接続すると、STOPエラーの0xe1または 0x0aが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 共通	なし	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	リモート画面操作機能	固定IPのクライアントPCに対してリモート画面操作機能からログオン/ログオフ/シャットダウン/再起動/メッセージ送信の指示を行う場合、名前解決によりクライアントIPを取得できない状況では処理に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m 【グレード】 共通	なし	
	資源配付機能	動作モードが修復モードであり、かつ、電源の入っていないクライアントPCに対し、スケジュール配付が実行された場合、修復モードのまま資源適用が行われてしまうことがあり、資源適用先が修復対象領域であった場合には、瞬間復元機能により、適用された資源が消えてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 特上	なし	
	システムリカバリ	LIFEBOOK A744/Hのディスクイメージ取得・配信を行う場合に、DR-DOSをブートエージェントに指定すると、「0 second Reboot」のメッセージが表示され、処理が止まってしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 上、特上	ブートエージェントにWindowsPEを使用してください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ取得・配信の実施において、富士通法人向けパソコン用ドライバセットを組み込んだWindowsPEをブートエージェントとして指定すると、特定のLANDドライバを必要とする機種ではエラーになる。	富士通法人向けパソコン用ドライバセットに e1y6232.sys および e1k6232.sys を組み込みました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 上、特上	WindowsPEに必要なLANDドライバを組み込んでください。	富士通機では、D5380、E8290、E8280、T8290、D5390、W380、W480、E780/A、P770/A、P770/B、T900/B、T730/B が該当します。
	システムリカバリ	サービスプログラムであるPXE Services (PXEService.exe)が、特定のバケットを受け取った場合にアプリケーションエラーになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	クライアント台数が増えると、システムリカバリコンソールの起動に時間がかかるようになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	LIFEBOOK A744/Hのディスクイメージ取得・配信を行う場合に、DR-DOSをブートエージェントに指定すると、10Mbpsでリンクアップされる場合がある。	対応LANDドライバを組み込みました。 本対応を有効にするには、A744/Hに対してBIOSのアップデートも合わせて行う必要があります。次のURLからダウンロードして適用してください。 【32-bit環境用】 LIFEBOOK A744/H用 BIOS書換データ V1.08(32ビット版) http://www.fmworld.net/cgi-bin/driversearch/drvdownload.cgi?DRIVER_NUM=E1017698&COLOR=1 【64-bit環境用】 LIFEBOOK A744/H用 BIOS書換データ V1.08(64ビット版) http://www.fmworld.net/cgi-bin/driversearch/drvdownload.cgi?DRIVER_NUM=E1017699&COLOR=1	【レベル】 Ver.10m以前 【グレード】 上、特上	ブートエージェントにWindowsPEを使用してください。	
Ver.10p	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos Endpoint Security and Control 10.3に対応しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU4 MP1bに対応しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU5に対応しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	機能改善	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされた場合のディスクI/O性能を改善しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	機能追加	リモート画面操作機能で作成した「レイアウト」を、他のユーザと共用できる機能を追加しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	機能追加	リモート画面操作機能にて次の機能を追加しました。 ■画面転送機能にてコンソールのセカンダリディスプレイの画像をクライアントに転送する。 ■画面転送機能での画面転送先にクライアントのセカンダリディスプレイを指定可能とする。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	機能改善	無線LAN環境下でのリモート画面操作機能の描画性能を改善しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	機能追加	2014年度下期モデルの ESPRIMO、LIFEBOOK に対応しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 上、特上	-	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	システムリカバリ	機能追加	ARROWS Tab Q584/H において、システムリカバリ機能のイメージ取得・配信を可能としました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 上、特上	-	拡張クレードルまたはUSB-LAN変換ケーブルによる有線LAN接続が必要です。
	マルチブート	動作検証	CentOS 6.5 および CentOS 6.6 での動作を確認しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	ウイルスバスターコーポレートエディション(以降VBCorp.と記載)との連携においては、ウイルスパターン以外のコンポーネントのアップデートが実行されるとVBCorp.の動作に異常が発生するため、VBCorp.の設定を変更する必要があります。	ウイルスパターン以外のコンポーネントのアップデートが自動的に実行されてもVBCorp.が正常動作するようになりました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	なし	本レベルから、VBCorp.はインストール時の初期設定のままでも共存可能となります。

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードにて運用中に、コマンドシェル(コマンドプロンプト)上でDELコマンドを発行すると、削除対象ファイルが存在するフォルダの中の他のファイルまで一緒に削除される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	DELコマンドではなく、エクスプローラにて削除を行ってください。	
	瞬間復元ドライバ	ファイル・フォルダ単位の修復モードにて運用中に、Google社の写真管理用ソフト Picasa3 のアップグレードインストールができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	パーティション単位の修復モードにて実施してください。	
	瞬間復元ドライバ	デフォルトプロファイルに特定のカスタマイズがされた環境において、ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用中にWindowsへログオンすると、一時プロファイルでログオンされる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライバ	瞬間復元機能が使用するワークファイルの削除に失敗し、「SCL00042 ファイルシステムの異常を検知しました...」のメッセージが出力されることがある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	なし	
	共通機能	メール送信機能にてSMTP認証が必要なメールサーバーを使用するとメール送信に失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバインストーラ	「SQL Server Browser」サービスがインストール済みの環境に瞬快サーバ機能をインストールする場合において、「SQL Server Browser」サービスが停止していると「SQL Server Browser」サービスが無効になる。 このことで「SQL Server Browser」サービスを必要とするアプリが動作しなくなる可能性がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	「SQL Server Browser」サービスのスタートアップの種類を「自動」に変更してください。	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能にて接続中のPCにリモートデスクトップ接続を行う場合において、クライアントがログオンされていない状態、あるいはクライアントが別のユーザーにてログオンされている状態のPCにリモートデスクトップ接続すると、リモート画面操作機能のモニタリングおよび遠隔操作ができなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	リモートデスクトップを切断し、クライアントにログオンしなおすことで回復します。	
	リモート画面操作機能	ネットワークが不安定な環境では、モニタリングもしくは遠隔操作を実施中に、画面がモノクロ表示となり、描画が更新されない状況となる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 共通	クライアントの再選択操作(切断・再接続)で回復します。	
	システムリカバリ	ディスク書き込み性能の低い環境では、ディスクイメージ取得にてタイムアウト終了する場合がある。	タイムアウトと判断するための閾値を下げ、なるべくタイムアウトしないようにしました。	【レベル】 Ver.10n以前 【グレード】 上、特上	ディスクイメージ格納先をウイルス対策ソフトのチェック対象から除外することで改善する場合があります。	
Ver.10p+	ドライバ	ウイルスバスターCorpと瞬快クライアントがインストールされたPCで、瞬快クライアントをファイルフォルダ単位の修復モードでにすると、OS起動中またはログオン中にOSがフリーズする場合がある。	瞬間復元ドライバがVer.11nと同等の動作をするように、定義ファイルを修正しました。	【レベル】 Ver.10p 【グレード】 共通	なし	
Ver.10r	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 に対応しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライバ	機能改善	より多くのUEFIの機器で瞬間復元機能が動作するように、瞬間復元ドライバに複数の復元方式を搭載しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 共通	レガシーブートにてOSをインストールし直してください。	対象機種に最適な復元方式はUEFIチェックツールにて確認してください。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードにて動作しているPCにおいて、「SCL00042 ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 共通	修復無効モードに切り替えることで、一時的に問題を回避することができます。	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードにて動作しているPCにおいて、Windowsフォトビューアーにて開いた画像を回転させると、ファイルが破損し開けなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 共通	画像ファイルを右クリックすると表示される「右回りに回転」「左回りに回転」を使って画像を回転させるとファイルは破損しません。	フォトビューアーが画像ファイルを開く標準ソフトに設定されているのはWindows 7までとなります。
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードで動作しているPCにおいてA&A社製「Vector Works 2015」を起動すると、これを終了できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	瞬快のシステムリカバリ機能にてネットワーク設定に失敗した場合、エラーで処理を停止せずに続行し、正常終了となっていた。	ネットワーク設定に失敗した場合は、直ちに処理を停止するように仕様を変更しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリサーバインストーラ	瞬快のシステムリカバリサーバの版数アップにおいて、古い版数をアンインストールして新しい版数をインストールすると、「コマンド処理中にエラーが発生しました。」のメッセージが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 上、特上	システムリカバリサーバのアンインストール後に、PCを再起動してから新しい版数をインストールしてください。	
	リモート画面操作機能	瞬快のリモート画面操作機能を使って、クライアントPCにファイルコピーを行うと、コピー終了後にクライアントPCが操作できなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	瞬快のリモート画面操作機能の単一PC操作を行っている際に、コンソール側でタッチパッドを使用して横スクロールを行うと、リモート画面操作のコンソールプログラムが異常終了する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10p+以前 【グレード】 共通	なし	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.10r+	WindowsUpdate連携	UEFIブートのクライアントPCにて、WindowsUpdate連携機能を使用すると、更新プログラム適用後に復元方式がB方式に切り替わってしまう。このため次のような事象が発生する可能性がある。 ・瞬間復元ドライブが正常動作しなくなる。 ・OSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10r 【グレード】 共通	(1)瞬間復元ドライブが正常動作しなくなった場合は、修復無効モードに切り替えた後、本来の復元方式を選択してから修復モードに切り替えてください。 (2)OSが起動しなくなった場合は、OS起動前の起動デバイス選択メニュー(富士通製PCはF12キー押下)から、ハードディスクを選択してOSを起動させ、(1)の操作を行ってください。	
Ver.10s	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP3 に対応しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP1 および MP1a に対応しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	McAfee VirusScan Enterprise 8.8 Patch6 に対応しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション 11.0 SP1 に対応しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	機能追加	Microsoft Office 2016(デスクトップ版)のアクティベーションに対応しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	機能追加	2015年度下期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 上、特上	-	
	瞬間復元ドライブ	Microsoft社製 Surface 3 において、修復モードにするとOSが起動しなくなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダ単位の修復モードにおいて、瞬間復元ドライブのスタック消費量が多くなり、スタックオーバーフローによるSTOPエラーが発生する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライブ	NEC社製PCの中にはUEFIチェックツールを実行すると、判定結果がA方式となるにも関わらず、A方式の修復モードにすると瞬間復元ドライブが正常に動作していない旨のエラーが発生する機種が存在する。	UEFIチェックツールを改修し、正しい結果(機能制限方式)を返すようにしました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	エラーの発生する機種では機能制限方式の修復モードにしてください。	
	クライアント	WindowsUpdateを実行中は修復モードに変更できないよう制御しているが、WindowsUpdateにて要求される再起動を保留した状態では修復モードに変更できず、この場合、PCが再起動を繰り返す状態になる場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバ	瞬快サーバに数百台の瞬快クライアントを同時に接続すると瞬快サーバが異常終了する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	環境設定WizardでのWindows PEブートエージェントの新規作成の画面にてサポート外としている「Windows PE 3.1 (Windows 7以前用) x64」が選択できるようになっている。	選択肢に「Windows PE 3.1 (Windows 7以前用) x64」が表示されないようにしました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	瞬快コンソールでのクライアントグループの作成において、グループ名に半角カンマの文字を含めると、システムリカバリコンソール起動時にエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 上、特上	グループ名に半角カンマの文字を使用しないでください。	
システムリカバリ	システムリカバリコンソールにてクライアントPCのコンピュータ名を変更した場合、変更前のコンピュータ名を使用して新しくクライアントPCを登録することができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10r+以前 【グレード】 上、特上	システムリカバリコンソールにて変更したコンピュータ名を、瞬快コンソールにて別の名前に変更することで異常は解消されます。		
Ver.10t	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ESET Endpoint アンチウイルス V6.2 に対応しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP4 に対応しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	機能追加	2016年度上期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 上、特上	-	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	瞬間復元ドライブ	32ビットUEFIのPCで修復モードに切り替えると、OS起動直前の1~2秒の間、画面左上に瞬間復元ドライブのデバッグ用文字列が表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダの修復モード中にPhotoshopで画像ファイルの保存を行うと、数回に1回程度の確率で、保存したファイルのアイコンが表示されないことがある。 この場合も、保存処理自体は行われており、F5キーを押すことでアイコンが表示されるようになる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	なし	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	ウイルス対策ソフト連携	エフセキュアのパターンファイルの情報取得処理がタイムアウトで失敗する場合があった。	タイムアウト時間を1秒から3秒に延長しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	なし	
	スケジューラ	スケジューラ機能によるログオン処理のスケジュールでは、ドメインへのログオンが指定できない。	ドメインへログオンできるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	Windows Vista にて複数PC操作のレイアウト編集を実施した際、各クライアントをレイアウト編集画面で選択することはできるが、ドラッグアンドドロップで位置を変更することができない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	なし	
	利用情報収集	利用情報収集機能の稼働チャートで、電源ON/ログオン/ログオフ/電源OFFを繰り返しているにもかかわらずPCがログオンし続けている状態で見えてしまう場合がある。	強制電源断など、PCの電源OFFが正しく検知できなかった場合は、その際の電源ON～電源OFFまでを稼働チャートに表示させないように改修しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	なし	
	サーバ	瞬快サーバを版数アップした後にエクスポートしたデータを、新規インストールした瞬快サーバへインポートさせた場合に、瞬快サーバの版数は同じであってもデータが正しくインポートできない場合がある。	瞬快サーバを版数アップした場合と新規インストールした場合で、データの構造が同じになるようにプログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 共通	なし	
	システムリカバリ	クライアントPCのリモート登録(手動登録)では、コンピュータ名の先頭文字に数字が使えない。	コンピュータ名の先頭文字に数字を使えるようにしました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリの実行結果ログの[CSV出力]を行うと、以下のエラーが発生する場合がある。 SRO00040 (X) ファイルへの書き込みができませんでした。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10s以前 【グレード】 上、特上	なし	
Ver.10u	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 14.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP6 に対応しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	—	
	システムリカバリ	機能追加	2016年度下期 ESPRIMO、LIFEBOOK、CELSIUS、ARROWS Tab の新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 上、特上	—	対応した機種については、瞬快のホームページを参照ください。
	クライアント	機能追加	瞬間復元の簡単設定にて、ジャストシステムの ATOK 2016 に対応しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	—	
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアントがインストールするPCにおいて、デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっていることを見落として修復モードへ変更してしまうと、OS環境に異常が生じる。	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態では、修復モードへの変更指示を受け付けないようにしました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	デバイスの暗号化またはBitLockerが有効になっている状態で修復モードへの変更は行わないでください。	
	瞬間復元ドライバ	修復モードの状態が6ヶ月以上経過すると、通知領域のアイコンが正常に表示されなかったりクリックしても反応しない状況となる。	暫定対処として、修復モードへ切り替える際に、レジストリにキャッシュされている通知領域アイコンの情報をクリアするようにしました。 本対応により通知領域アイコンをカスタマイズしても修復モードに切り替えると初期値に戻ります。 通知領域アイコンをカスタマイズしたい場合はサポートセンターまでお問い合わせください。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	本製品DVDの以下のフォルダ内にあるスクリプトを使ってキャッシュをクリアしてください。 Tool\Scripts\DeletelconStreams 使用方法はフォルダ内のReadme.txtを参照ください。	
	瞬間復元ドライバ	修復モード中にI/Oエラーを検知すると瞬間復元ドライバ(skfil.sys)はエラーログをディスクのLBA33に書き込む。 MBRディスクのLBA33は未使用領域であるが、GPTディスクのLBA33はパーティションテーブルとして使用されており、パーティション125～128の情報を書き込まれる。 LBA33にエラーログが書き込まれると、次回起動時よりパーティションテーブル異常と判定し、ディスク異常と通知される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	修復モードへの切り替え時にはディスク先頭領域をバックアップしており、修復無効モードへの切り替え時にはこれをリストアしますので、通常であればLBA33のエラーログは残りません。	
	システムリカバリクライアントインストール	システムリカバリクライアントの、新規インストールや版数アップの処理が失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 上、特上	なし	
	クライアント	有線LANと無線LANの両方を搭載したPCに、瞬快クライアント機能をインストールした場合、有線LANを無効にしなければ無線LANの情報が瞬快サーバに通知されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	スケジューラ機能を使って、クライアントPCへ指示を出しても、指示通りに動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	64bit の Windows7 に瞬快クライアントをサイレントインストールする際、SHA-2証明書に対応している更新プログラムが適用されているにもかかわらず、インストールが中断されてしまう。	サイレントインストールを行う場合は、SHA-2証明書に対応した環境かどうかを判定するための更新プログラム(KB3033929)の適用確認を行わないようにしました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	なし	Windows7 x64に瞬快クライアントをインストールする場合、2015年4月以降の更新プログラムを必ず適用するようにしてください。
	クライアントインストール	1台のPCへ、瞬快コンソール、瞬快クライアントの順にインストールを行うと、リモート画面操作機能の画面転送を受信できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	瞬快クライアント、瞬快コンソールの順にインストールを行ってください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	システムリカバリ	システムリカバリコンソール起動時に、次のエラーが発生する場合があります。 ・SRO00095 設定ファイルの読み込みに失敗しました。環境をご確認ください。 ・SRO05123 環境設定ファイルの取得に失敗しました。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバを再起動せずに長期間利用し続けると、システムリカバリサーバのデータベースが肥大化する。 これにより、イメージ配信等のサービス実行時に、「リクエストの開始命令の発行に失敗したか、サービスのパラメータエラーが発生しました。」というエラーが発生し、サービスが実行できなくなる場合があります。	システムリカバリサーバのデータベースサイズが閾値を超えた場合に、通知メッセージを表示させるようにプログラムを改修しました。 システムリカバリコンソールを起動したときに、次のメッセージが表示された場合には、メッセージに従いサービスを再起動させて下さい。 「システムリカバリサーバのデータベースが肥大化している恐れがあります。システムリカバリコンソールを終了させてから、システムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動してください。」	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 上、特上	定期的にシステムリカバリサーバのDeployment Serviceのサービスを再起動させてください。	
	システムリカバリ	システムリカバリのサービスの設定において、「アクティベーションが失敗した場合に処理を停止する」のチェックを外している場合、サービス実行時にアクティベーションできない場合でも処理が継続されないといけないが、アクティベーションできない場合には処理が継続せずにエラー終了してしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	システムリカバリコンソールを起動すると、次のエラーが発生する場合があります。 「C:\ProgramData\Syunkai Product\Console\Manage\Sro\client.csv へのアクセスは拒否されました。」	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 上、特上	現象が発生した場合は、以下のファイルを削除して下さい。 C:\ProgramData\Syunkai Product\Console\Manage\Sro\client.csv	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバと瞬快コンソールの版数不一致の場合、システムリカバリのコンソール表示時 次のエラーが発生する。 「指定されたパラメータは正しくありません。引数が範囲外の値です。」 または、 「システムリカバリサーバとの通信が切断されました。システムリカバリ管理機能を終了し、再度起動してください。」	瞬快コンソールを起動したときに、版数チェックを行う処理を追加しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 上、特上	瞬快サーバ、瞬快コンソール、システムリカバリサーバの版数は必ず一致させてください。	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の処理において、更新プログラムの検索や適用に長い時間を要する場合があります。5時間のタイムアウト時間では処理が終了しない事例が増えている。	WindowsUpdate連携のスケジュール作成時にタイムアウト時間を延長できるようにしました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	WindowsUpdate連携処理が5時間以内で終了するよう、クライアント環境もしくはWSUSにて調整してください。	
	スケジューラ	瞬快のスケジューラ機能で、同時に多台数(100台以上)を同時実行した場合、Windowsが過負荷状態になり、スケジューラが正常動作しない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	同時に実行する台数を少なくしてください。	
	管理機能	瞬快コンソールの機器管理の一覧にて最新情報を表示した場合、クライアントPCが電源オフであるにもかかわらず、電源オンと表示されてしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10t以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.10v	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU6 MP7 に対応しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション XG に対応しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 14.0 MP1 に対応しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター コーポレートエディション 11.0 SP1 Patch1 に対応しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	—	
	瞬間復元ドライブ	Office 2013以降のボリュームライセンス製品を除く全てのMicrosoft Office製品では、Officeの自動更新が、Windowsのタスクに登録された「Office Automatic Updates」により自動的に行われるようになっているが、ファイル・フォルダ単位の修復モード中に、このタスクが動作してOfficeに更新がかかると、更新内容によってはOfficeファイルの管理情報に異常が生じ、Officeファイルが開けなくなる。	クライアント機能を新規インストール時に、タスクスケジューラに「Office Automatic Updates」が登録されている場合タスクを無効化させるように修正しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	タスクスケジューラから「Office Automatic Updates」を無効にしてください。	
	瞬間復元ドライブ	UEFI設定時のブートエントリとしての Windows Boot Manager(WBM) が複数登録されたような異常な環境において、修復モードへの切り替えを行うとPCが正常起動しなくなる場合があります。	異常なWBMをスキップするようにし、PCが正常起動されるように修正しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	複数のWBMが登録されている場合は、bcdedit.exe /delete コマンドでWBMをすべて削除した後、次のコマンドを実行し、正常なWBMを登録してください。 bcdboot.exe c:\Windows /L ja-jp	
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用を続けていると、「ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーが表示される場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	なし	

瞬快Ver.10系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライバ	動作モードを修復モードへ変更した際に、次のような状態になりOSが起動しなくなる機種がある。 【レガシーブートの場合】 OS起動中の黒画面時、画面左上にてカーソルが点滅する状態になる。 【UEFIブートの場合】 OS起動中の黒画面時、画面中央に「Cannot load PreparationOfBootOS」のメッセージが表示される。	【レガシーブートの場合】 ファームウェアの問題を回避し、起動処理を止めないようにプログラムを改修しました。 【UEFIブートの場合】 ファームウェアの問題を回避する設定を可能としました。設定方法については、サポートセンターまでお問い合わせください。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	瞬快クライアントインストール後、修復無効モードにてプリフェッチ・スーパーフェッチの設定を変更しても、修復モードにすると瞬快標準設定に戻されてしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	なし	
	コンソール	瞬快コンソールにおける機器一覧の表示において、IPアドレスが127.0.0.1となるPCがある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	画面補正機能が動作しないアプリケーションが存在する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10u以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.10v+	瞬間復元ドライバ	レガシーブートのOS環境にVer.10vをインストールして修復モードにする場合、機種によっては、次の様な画面表示にて停止し、OS起動しなくなる。 ・黒画面にてカーソルが点滅 ・機器メーカーのロゴ画面 ・「Windows を起動しています」の画面	プログラムを改修しました	【レベル】 Ver.10vのみ 【グレード】 共通	なし	Ver.10vで既に修復モードで正常動作している場合は、Ver.10v+に版数アップする必要はありません。
Ver.10w	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos Endpoint Security and Control 10.7 に対応しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	—	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 14.0 RU1に対応しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	—	
	瞬間復元ドライバ	ファイルフォルダ単位の修復モードにするとAdobe Creative Cloud が起動できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	次のフォルダを修復対象外に設定してください。 【32ビットOS】 C:\ProgramData\Adobe\SLStore¥ C:\Program Files¥Common Files¥Adobe¥SLCache¥ C:\Program Files¥Common Files¥Adobe¥OOBE¥ 【64ビットOS】 C:\ProgramData\Adobe\SLStore¥ C:\Program Files (x86)¥Common Files¥Adobe¥SLCache¥ C:\Program Files (x86)¥Common Files¥Adobe¥OOBE¥	
	瞬快サーバ	瞬快サーバが利用しているMicrosoft SQL Server 2008 R2 Express EditionのMicrosoft社のサポート期限が2019年7月で切れる。	瞬快サーバを新規インストールした場合は、Microsoft SQL Server 2014 Expressがインストールされます。 従来の版数から瞬快サーバを版数アップした場合は、引き続きMicrosoft SQL Server 2008 R2 Express Editionが利用されます。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	なし	
	インストーラ共通	1台のPCに、瞬快クライアント、瞬快コンソールの順でインストールを行い、瞬快クライアントだけをアンインストールすると、リモート画面操作の画面転送機能が動作しない。 また、1台のPCに、瞬快コンソール、瞬快クライアントの順でインストールを行い、瞬快コンソールだけをアンインストールすると、リモート画面操作のクライアント機能が動作しない。(他のPCからのモニタリングや遠隔操作などができない)	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	瞬快クライアントまたは瞬快コンソールの機能を再インストールしてください。	
	クライアント	sha256のデジタル証明書に対応した更新プログラムがWindows 7 x64に適用されているかをチェックする処理に問題があり、正しく判断できていなかった。このため、sha256のデジタル証明書に未対応のWindows 7 x64に瞬快クライアントをインストールできてしまい、OS起動ができなくなる場合がある。	sha256のデジタル証明書に対応した更新プログラムがインストールされているかの判断ロジックを改修しました。 sha256のデジタル証明書に未対応の場合は、瞬快クライアントのインストールを中断します。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	2015年03月に公開された、KB3033929の更新プログラムを適用する、またはKB3033929の更新プログラムが含まれる累積的な更新プログラムを適用してください。	
	クライアント	Ver.10uでは、修復モードの状態6ヶ月以上が経過すると通知領域アイコンに異常が生じるといふOS仕様に対する暫定対策を施したが、これにより通知領域アイコンのカスタマイズができないという制限事項が生じている。 また、修復モードへの変更時にログオン中のユーザーでは当暫定対策が無効となる。	レジストリにキャッシュされている通知領域アイコン情報をクリアするという暫定対策を中止し、代わりにキャッシュの有効期限を120ヶ月に変更することで、制限解除と問題解消を図りました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能の複数PC操作のコンソールを高さ115ドット以下のサイズにした状態で終了させると、次回複数PC操作起動時にモニタリングができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	スタートメニューから複数PC操作を起動した場合、ポリシー設定を「報告IPアドレスを利用して接続する」設定にしているにも関わらず、「ネットワーク設定を利用して接続する」設定の動きをする場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	なし	
	コンソール	瞬快コンソールの設定で、「報告IPアドレスを使用する」に設定にしているにも、クライアントPCからの通知が一定期間無いと報告IPが使用されず、リモート画面操作機能がクライアントPCに接続できない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	なし	

瞬快Ver.10系 対応内容一覧

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	共通機能	メール送信機能にて smtp.gmail.com を指定できるようにしました。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10v+以前 【グレード】 共通	なし	
Ver.10w+	リモート画面操作機能	キーボード・マウスロック処理において、特殊キー操作([Ctrl]+[Alt]+[Del]および[Win]+[L])のロックができない。 OSのシステムイベントに dckfltr.sys のエラーが記録される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10wのみ 【グレード】 共通	なし	64bit環境のみが対象です。